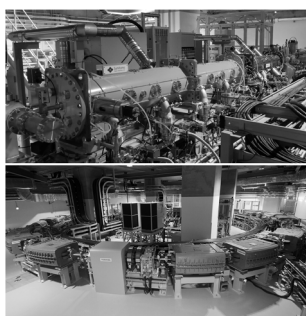


「加速器」

Vol.17, No.3
(2020. 10. 31 発行)



表紙写真の説明

山形大学医学部東日本重粒子センターは国内では7施設目、東北地方では初となる重粒子線治療施設である。加速器の主要部分には、全永久磁石型 ECR イオン源と 4 MeV/u RFQ+IH-DTL 線形加速器(写真上)と 430 MeV/u シンクロトロン(写真下)で構成される。2019年に建屋および加速器の建設が完了し、2021年2月から治療照射が開始される予定である。詳しくは本文参照。

想田 光
(山形大学)

・巻頭言

12GeV-PS と共に過ごした半世紀 ————— 佐藤 皓 143

・話題

山形大学医学部東日本重粒子センターの建設

————— 想田 光, 岩井 岳夫, 金井 貴幸, 宮坂 友侑也,
佐藤 啓, 根本 建二, 上野 義之, 嘉山 孝正 144

小型加速器駆動中性子解析施設 AISTANS の開発 ————— 木野 幸一 151

理研リングサイクロトロン RRC の高周波系アップグレード

————— 山田 一成 159

KEK 電子・陽電子入射器による5リング同時トップアップ入射

————— 佐藤 政則 169

J-PARC での長基線ニュートリノ振動実験の新たな展開 ——— 中平 武 174

加速器による医療用 RI の商業生産 ————— 伊藤 拓 181

・賛助会員のページ

(株)トヤマ 加速器事業の紹介 ————— 佐治 晃弘 187

・掲示板(関連会議情報)・会告・編集後記 ————— 191

・投稿募集・広告募集・投稿の手引き ————— 204

・賛助会員名簿 ————— 207